

誘致企業紹介

DOWA エコシステム(株) 熊本事業所

令和5年7月に市と立地協定を締結したDOWAエコシステム株式会社。同社は、資源リサイクル事業をはじめ、廃棄物処理や土壌・地下水の調査や浄化など幅広い環境事業を長年にわたり国内外で展開しています。今年8月に、松橋町に建設していた熊本事業所が完成しました。同所では、グループ会社のアクトビリーサイクリング(株)とエコシステムリサイクリング(株)が一体となって稼働。使用済みの家電類の金属やプラスチックなどのリサイクル事業を展開し、プラスチック原料や固形燃料の製造などを行います。

10月にはプラスチックの選別やペレット成形など一部機器の稼働を開始します。今後は順次、非鉄破砕や貴金属リサイクルなどを稼働予定。九州における総合的なリサイクルの拠点を目指しています。

所在地	松橋町萩尾地内
敷地面積	約10万㎡(開発面積) 約6.8万㎡(有効面積)
建屋面積	約6千㎡
稼働開始時期	令和7年10月
従業員数	約20人(操業開始時点)
初期投資額	約50億円



末松市長 宇城市では人口の流出が続いており、令和6年は転出者2030人、転入者1995人と45人の転出超過となっています。人口減少は働き手や消費者を減らし、経済の停滞にもつながります。

しかし、宇城市には可能性があります。私は市長として「人口の社会増」と「市民の所得増」を目指し、そのために企業誘致と土地開発を進めるつもりです。2度目の宇城市派遣となる亀井部長には、前回の経験と県庁での知見を大いに生かしてもらいたいですね。

亀井部長 市長は県議会議員の頃から、社会増と所得増、そのための企業誘致と土地開発の重要性を話していました。工場や物流施設を呼び込み、雇用を確保すれば、転出を防ぎ、転入を促すことができます。企業の利益は市民の所得となり、地域経済を支えるのです。

市長 人口が増えれば労働力と消費が拡大し、地域の稼働力が増えます。企業利益や市民所得も増え、税収増、行政サービスの充実につながります。住みやすいまちになれば、さらなる人口増が期待でき、

ここがいい。
ともに過ごすまち
宇城



末松 直洋 市長

社会増と所得増を 目指すための企業誘致

宇城市の将来展望と企業誘致について、末松直洋市長と県から出向中の亀井誠・市長政策部長が意見を交わしました。

好循環を生み出せます。少子高齢化の中で人口増は容易ではありませんが、まずは社会増への転換を実現します。

部長 全国的に見ると、人口減が進む中、産業集積と高い所得水準を持つ自治体ほど人口を維持しています。企業誘致による雇用や所得の増加は人口の社会増につながり、逆に労働力の確保が見込めるからこそ企業もさらなる設備投資を決定します。人口の維持確保自体が企業誘致の呼び水になります。

市長 一方、人口や投資の受け皿となる住宅地や産業用地の確保、土地開発も重要です。

部長 行政の主體的な土地開発に加え、住みやすくて働きやすいまちづくりを進めます。企業誘致だけでなく、女

性や若者のキャリアアップ支援としてリスキリングに取り組む、地場企業も対象とした人材確保や生産性向上、事業拡大にもつながっていきます。

市長 市内の企業には地域の担い手として、さまざまな分野で貢献していただいています。市民や企業と力を合わせて、持続可能な宇城市の未来を築いていきましょう。



亀井 誠 市長政策部長

熊本事業所の資源リサイクル事業



廃棄物が資源として生まれ変わります。



再び資源として利用

※写真は一例です